

## 令和元年度(第60回)石川県防災総合訓練の実施について

### 1 目 的

地震及び風水害等各種災害の発生に際し、災害応急対策に万全を期すため、災害対策基本法並びに石川県地域防災計画及び野々市市地域防災計画等に基づき、防災関係機関及び地域住民の参加のもと、総合的な防災訓練を実施し、関係機関等の連携強化を図るとともに、広く県民の防災意識の高揚を図る。

### 2 日 時

令和元年9月8日(日) 午前8時～12時

### 3 場 所

野々市市ほか

( 野々市中央公園(多目的広場、野々市市民体育館、野々市市民野球場)  
金沢工業大学、野々市小学校、老人福祉センター椿荘 など )

### 4 主 催

石川県、野々市市

### 5 参加機関及び参加人員

- (1) 参加機関 101機関
- (2) 参加人員 約8,000人

### 6 訓練想定

9月8日午前8時00分頃、森本・富樫断層帯を震源とするマグニチュード7.2(震度6強)の地震が発生した。

## 7 主な訓練内容

### (1) 自主防災組織（防災士）などによる自助・共助の取り組み推進のための訓練 ・住民避難訓練及び避難所開設・運営訓練の実施

→全町会（54町会）の住民が避難場所へ避難し安否確認を行うとともに、10ヶ所全ての避難所で開設・運営訓練を行う。また、昨年度新たに締結した大学との防災協定に基づき、金沢工業大学や石川県立大学では、学生が避難所の開設・運営訓練に協力する。

### ・自主防災組織と連携した福祉避難所の開設・運営訓練の実施

→老人福祉センター椿荘において、自主防災組織と施設管理者が連携し、避難所の生活が困難な要支援者の避難誘導や救援物資の受入れを行うほか、災害支援ナースが避難者の健康状態の管理を行うなど福祉避難所の開設・運営を行う。

### (2) 防災関係機関が連携した実践的な訓練

#### ・合同指揮所設置・運営訓練の実施

→災害現場に複数の実動機関が集結し、連携して効率よく活動するためには、機関相互の情報共有や役割分担等が重要なことから、バイク偵察部隊や石川県情報通信部の映像伝送から得た情報を集約し、部隊間の情報共有及び役割分担などを行う合同指揮所を設置・運営する。

※平成30年7月豪雨などの大規模災害発生時では合同指揮所を設置・運営して救出・救助活動を行っており、防災関係機関による実践的な訓練を行う。

#### ・消防、警察、自衛隊、DMAT等が連携した救助、搬送等訓練の実施

→消防、県警、陸自、県救助犬協会が連携し、倒壊家屋や事故車両に取り残された住民の救出救助を行う。

→医師会や日本赤十字社、DMATなどが連携し、多数の傷病者をトリアージ等の応急措置を行い、救急車で医療機関に搬送するほか、特に重症患者についてはドクターヘリで県立中央病院に搬送を行う。

#### ・広域物資輸送拠点と避難所を結んだ物資輸送訓練の実施

→広域物資輸送拠点である日本通運(株)専光寺物流センター（陸路）、金沢港（海路）及び小松空港（空路）で受けた救援物資を仕分け、県トラック協会のトラック及び空自ヘリ等により野々市市に輸送を行う。

#### (参考)

#### ○ 知事・野々市市長（訓練本部長・訓練副本部長）の訓練視察順路（予定）

9:15~9:50	10:00~10:26	10:31~10:41	10:46~12:00
金沢工業大学	→ 野々市小学校	→ 老人福祉センター椿荘	→ 野々市中央公園